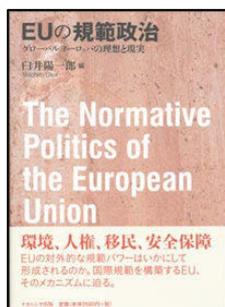


【著作紹介】EU の規範政治 —グローバルヨーロッパの理想と現実



著者：市川 顕（国際学部グローバル・イノベーション学科 准教授） 【共著】

出版社：ナカニシヤ出版

出版年：2015年6月発行

価格：3,500円＋税

ISBN：9784779509261

[所蔵状況を確認する](#)

<http://triton.lib.toyo.ac.jp/detail?bbid=U102080064>

内容：

環境、人権、移民、安全保障——。EUの対外的な規範パワーはいかにして形成されるのか。そのメカニズムに迫る。

本書ではコンストラクティヴィズムの基本的問題意識を踏襲するが、必ずしもそのリサーチ・デザインには拘泥しない。……規範政治とはむしろ、ひとつの研究方針を指し示す言葉だと受け取ってもらいたい、規範を実現しようとする政治と、規範を利用しようとする政治の表裏一体性を明らかにしようとする研究方針である。規範を実現しようとして失敗するEU、規範を操作利用し戦略的にふるまおうとしてうまくいかないEUという、イメージと実態のギャップに注視したい。批判的アプローチを通じてこそあらためて、国際規範を構築するEUの否定しえない実績に注意を引くこともできよう。

[ナカニシヤ出版の紹介ページ](#)

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b200748.html>

教員メッセージ

本書は、大学3年生以上のEU（欧州連合）政治に関心のある読者を対象として編まれたものである。環境、人権、移民、安全保障などの領域において、EUの対外的な規範パワーはいかにして形成されるのか。

国際的な場で規範を紡ぎ出すEU、規範を利用するEU。アクターとしてのEUの今日の在り方に光を当てて一冊となっている。

目次

序章 規範のための政治、政治のための規範 白井陽一郎

—政体 EU の対外行動をどうみるか

1. 本書のねらい
2. 規範政治
3. EU の規範志向性、その源泉
4. EU の対外行動
5. 本書の構成

第 I 部 規範政治の基礎論

第 1 章 コンストラクティヴィズムのヨーロッパ統合研究 東野篤子

—EU における規範への視角

1. ヨーロッパ統合研究におけるコンストラクティヴィズム
2. 統合と規範—コンストラクティヴィズムからの知見
3. コンストラクティヴィズムの可能性—歴史研究との協働可能性？

第 2 章 EU は『規範パワー』か？ 東野篤子

1. マナーズの『規範パワー論』
2. NPE の衝撃—受容、浸透、批判
3. 「新たな規範的転回」か？

第 3 章 域外からみた規範パワーとしての EU 福井英次郎

—その研究方法の再検討

1. 規範パワーの再検討
2. 研究方法の考察

第 II 部 規範政治の域内基盤

第 4 章 初代 EU 〈大統領〉ファンロンパイの合意型リーダーシップとその変容 松尾秀哉

—大海に飛び出した井の中の蛙

1. リスボン条約における“顔”の創設
2. ベルギー時代のファンロンパイ
3. EU 時代のファンロンパイ
4. 結論—多様性の中の強いリーダーへ？

第 5 章 ユーロ政党と EU の価値規範 スティーブン・デイ (白井陽一郎訳)

1. ふたつの政治イベント
2. 規範の意義について
3. 主流派ユーロ政党
4. ユーロ政党の拡大
5. 2014 年欧州議会選挙
6. ユーロ政党研究の意義

第6章 規範政治とEU市民社会 明田ゆかり

1. 市民社会と規範
2. EUの複合的ガバナンスと市民社会
3. トップダウン—規範政治から市民社会へ
4. ボトムアップ—市民社会から規範政治へ
5. トランスナショナルなベクトル—EU規範政治とグローバル市民社会との共鳴

第III部 対外関係の規範政治

第7章 EUによる対外的な規範普及のための手段と成功条件 武田健

—EU新規加盟と欧州近隣政策

1. 非強制的な手段による規範受容の働きかけ方
2. EUへの新規加盟
3. 欧州近隣政策
4. EUの規範普及活動の未来

第8章 グローバリゼーションを管理せよ 明田ゆかり

—規範を志向するEUの通商政策

1. EUの通商政策と規範
2. グローバル貿易ガバナンスにおける規範の修正
3. バイラテラルなFTAを通じた規範の拡散
4. 規範志向の通商政策の罨

第9章 EUの通商政策を通じた動物福祉の普及 関根豪政

—動物福祉の「すすめ」か「押しつけ」か？

1. EUにおける動物福祉の概念の展開
2. 多数国間関係における動物福祉の限界
3. 二国間・複数国間関係での克服の可能性
4. 二国間・複数国間アプローチの限界と問題点

第10章 石炭を諦めない 市川顕

—EU気候変動規範に対するポーランドの挑戦

1. 国際気候変動交渉におけるEU
2. EUの気候変動規範
3. EU気候変動規範への挑戦
4. COP19と石炭気候サミット
5. EU気候変動規範の強さと脆さ

第11章 非EU市民の受け入れ方 小山晶子

—EUの移民統合政策が進める第三国国民の同化と排除

1. 共通移民政策の対象としての第三国国民の権利

2. ソフトローによる第三国国民の統合アプローチ
3. 義務化される第三国国民の統合政策
4. 欧州アジェンダにみる第三国国民の統合の行方

第12章 コカイン、ヘロインを撲滅せよ 福海さやか

——国際組織犯罪と闘う EU

1. 脅威としての麻薬密輸
2. EU の麻薬規制政策
3. 麻薬規制プロジェクト

第13章 アメリカの譲歩と EU の妥協 小松崎利明

——国際刑事裁判所（ICC）と EU の規範政治

1. 国際刑事裁判規範の歴史
2. ICC 規範の形成と EU
3. ICC 規範をめぐる政治

第14章 EU の文民的危機管理政策 小林正英

——ソーセージと EU の文民的危機管理政策がどう作られるかを知る人は、もはやぐっすりと眠ることとはできない

1. 文民的危機管理とはなにか
2. EU 安全保障政策の規範志向性の現在
3. EU 文民的危機管理政策構築の政治力学
4. 文民的危機管理政策の（非）規範性—まとめにかえて

あとがき

コラム 1 「デンマークでなにかが腐ってる」？（東野篤子）

コラム 2 死刑廃止の“世界的潮流”（小松崎利明）

コラム 3 日本のメディアの EU 認識（福井英次郎）

コラム 4 日本・韓国・中国における EU のノーベル平和賞受賞の報道（福井英次郎）

コラム 5 日本の大学生の EU 認識（福井英次郎）

コラム 6 EU の FTA 政策と日 EU・FTA（関根豪政）

コラム 7 EU へ向かう脱北者たち（金敬黙）

コラム 8 ウクライナ危機は“西側の責任”か？—国際社会の EU に対する注目、期待、理解（東野篤子）

[著者] 市川 顕（イチカワ アキラ）



21世紀は環境の世紀といわれます。そして、持続可能な社会の構築は、現在の政治・経済・社会体制にとって大きな挑戦となっています。そこで求められていることは、①世代を超えた公平の達成、②自然環境をコストとして内部化した市場経済の達

成、③自然に権利を与える法体系の達成、④グローバルから個人にいたるまでの多層にわたる環境改善への挑戦、⑤国際機関、国家から個人にいたるまでの多様なアクターの協働の達成、⑥他部門政策における環境配慮の統合の達成、でしょう。

私の研究活動においては、多層・多様なアクターによる持続可能な社会の構築に向けた環境ガバナンスを鍵概念として、アクター間、多層間、学問分野間のコミュニケーションの態様を示し、持続可能な社会に向けた取り組みを把握することを目標としています。

関連リンク

[東洋大学研究者情報データベース（市川顕准教授）](http://ris.toyo.ac.jp/profile/ja.08cae0a60c6f5e8f6c64ab225285e120.html)

<http://ris.toyo.ac.jp/profile/ja.08cae0a60c6f5e8f6c64ab225285e120.html>